

■がん登録担当者研修会

●目的 平成28年1月から「全国がん登録」制度が開始されたことに伴い、地域がん登録から全国がん登録へのスムーズな移行や更なる精度向上が課題である。

第1部を奈良県がん対策推進協議会がん登録部会、第2部を奈良県がん診療連携協議会院内がん登録分科会が担当し、共催することで院内がん、地域がん、全国がん登録のデータ活用を学ぶ機会とする。

●対象者 県内病院及び全国がん登録指定診療所の担当者

●内容

日時・場所	内容・講師	参加者
平成29年9月3日(日) 13:30~17:00 奈良県立医科大学 蔵櫃会館 3階 大ホール	報告：奈良県のがん登録データを活用した「データ分析の試みについて」 奈良県医療政策部保健予防課 参事 戸毛 由樹子 講演 ・第1部 「高精度のがん登録データから効果的ながん対策へ」 国立がん研究センターがん登録センター がん登録センター全国がん登録室 室長 松田 智大 氏 ・第2部 「膵臓癌・胆道癌」について 奈良県立医科大学 消化器・総合外科 教授 庄 雅之 氏 質疑応答	44名 (35医療機関)

●概要

- ・第1部は全国がん登録の現状、制度の概要、入力項目の詳細など実務的な研修会を実施することで、全国がん登録へのスムーズな移行や精度向上を目指す。
- ・第2部はがん登録担当者の病態についての専門知識を深めることにより、がん登録精度を高めることを目指す。
- ・参加者アンケートの結果では、参加者の86%以上が報告・講演について「参考になった」と回答。
- ・その他ご意見・ご要望欄では、病院担当者ががん登録の具体的な作業フロー図の作成や、他のがん種についての講演を望む声も聞かれた。今後も、がん診療連携協議会がん登録分科会とも連携しながら、がん登録の精度向上に努めて行く必要がある。

